
ある鬼の生き様

神谷 九龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある鬼の生き様

【Nコード】

N6698X

【作者名】

神谷 九龍

【あらすじ】

孤独であった男は家賊と出会い、そして…

序章（前書き）

初投稿になります。

駄文ですが、もしよかったら読んでみてください。

序章

とある病にかかった人々がいる。

それは、先天性ではなく、後天的なものである。

それは、感染することなく発祥する。

症状は唯一にして、無二。

『誰彼構わず、傷つけたい』

ただ、それだけ。

自傷癖の進行先

精神病の最高峰（行き止まり）

彼等にあるのは、行動のみ。

殺せないという、『結果』はあれど

殺さないという、『選択肢』は存在しない。

その発祥者は呼称がある。

『殺人鬼』

そう呼ばれる。

これは、そんな病に侵された一人の男の物語

序章（後書き）

……… 続きはとうとう（泣）

登場人物設定（前書き）

主人公の設定です。

新しい人物が登場するたびに、更新していきこうと思います。

登場人物設定

名前 零崎 優織

(ぜろさき やさしき)

本名は、山下 友典

(やました とものり)

性別、男

年齢、20

容姿は、中肉中背で、特に強調すべき特徴はない。

二つ名は、罪悪と偽望

(パンドラボックス)

武器は暗器全般

(常に殺人に関わる術を体中に仕込んでいる)

友人に裏切られたため、家賊だけを信じ、完全に依存している。

自分が傷つくことは、あまり気にしないが、家賊が傷つけられると、途端に暴走しだす。

零崎、開始時の台詞

「貴方とは零崎（絶交）です」

登場人物設定（後書き）

……早く、続きを書けるよう頑張ります。

第一章 第一話（前書き）

少し、間が空きましたが続きです。

第一章 第一話

ここにいたい。

ここに居たい。

ここに痛い。

ここに遺体。

ただ隣に、傍らに、温もりが欲しいのに、そこにあるのは、死体だけ。

悲鳴や慟哭は、寂しいから、気付かれないよう、わからないよう、『優』しく殺す。

そんなことを続けていたある日、一人の男が手を差し延べてくれた。

「私の家族にならないか？」

僕は、悩むことなく、その手を、掴んだ。

そこで、彼は、目を覚ました。

「久しぶりだな、あの時の夢を見るのも」

ベッドから降り、朝食の用意を始める。

出来上がったそれを机の上に載せ、目の前のテレビをつけた。

『……………通り魔事件の続報です。被害者は……………』

流れているニュースを見ながら、朝食を済ませ、そして、出掛ける準備をする。

そして、彼は、大学へと向かう。

「遂に、4人目か」

扉を開ける寸前に呟いた言葉は、部屋の中に消えていった。

第一章 第一話（後書き）

……話しが全然進んでない。

これからどうしようっ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6698x/>

ある鬼の生き様

2011年10月25日03時06分発行